

**令和3年度鈴鹿高専  
青峰寮広報誌 青峰**



表紙デザイン 寮生 丸田佳奈

# プラスとマイナス

---



校長 竹茂 求

大学に入学して下宿したことを前号でお話しました。下宿生活ではこれといった規則もなく殆ど自由でしたが、一人暮らしに憧れて2年後にはアパートに移りました。色々な規則の中で不自由を我慢している青峰寮の皆さんには羨ましく聞こえるかも知れません。しかし物事には必ずプラス面とマイナス面があります。何がプラスとマイナスかは個人の価値観によるでしょうし、恐らく時間の関数としても変化するように思います。

昔から「若い時の苦労は買ってでもしろ」と言われますが、個人的には、苦労しないで済むならそれで良いと思います。ただし、楽であれば良いという事でもないでしょう。当時の私はアパート暮らしの自由さをプラスと感じていましたが、今にして思えばその自由がとて

も重要だったという実感は殆どありません。一方で、これも前号でお話した「高専では寮生活が最も貴重だった」

と懐かしむ卒業生の言葉は、私などが思いも及ばない重みと深みをもって皆さんに届くのではないのでしょうか。当時はマイナスに思えた不自由が、価値観の変化と時間の経過と共にプラスに転じた卒業生もいるのでしょうか。とは言っても、不自由さにもある程度の合理性が求められるので、青峰寮では共同生活のあり方を少しずつ見直しているようです。色々な側面からの議論に期待しています。

さて、学生時代の友人は大変懐かしいものです。皆さんにとって青峰寮で5年間一緒に暮らした友人の思い出は掛け替えのないものになると想像します。私も2年間でしたが下宿で一緒に住んでいた先輩や後輩のことは今でも鮮明に覚えています。しかし残念なことに彼らと連絡を取る術が全くありません。皆さんには、卒業しても時々連絡し合うことをお勧めします。



# ターニングポイント

---

教養教育科

寮務主事補(広報担当) 藤野 月子

寮生の皆さん、こんにちは。昨年度に比べてようやくこれまでの日常が少しずつ取り戻せたような気がします。とは言え、後期は当初の予定より1週間も開始が遅れ、年明けからはオンライン授業になり、通常なら低学年は先輩と一緒に寮の部屋で共同生活を営むはずが、すべて1人部屋になりました。個人的には、マスクを外し、何より一番盛り上がりを見せる高専祭を早く復活させて欲しい！と強く願う毎日です。

私は今年度で約5年間、寮務主事補を務めてきました。今ではもうあの泊まり込みの寮監もなくなってしまいました。私は実はあの仕事をとても好きだったのです。私自身には海外留学を除いて規律ある寮生活の経験はないので、何だか自分も若返って皆さんと一緒に寮生になったような気がして楽しかったのです。点呼の際には皆さんの様子もわかるし、週番の子達とたわいもないお喋りも出来る、ゆっくりした時間でした。寂しさを感じています。

私の中でも寮に対する気持ちの変化があったように、時折耳に届く寮生からの相談事に対応していると、やはりコロナ禍が始まってからここ最近、寮自体も以前とは変わってきているんだなあ、と感じることがしばしばあります。

生活様式の変化は確実に人間関係にも変化をもたらしている、ということです。寮でも以前のように体育館や講義室に全員が集まって閉寮ガイダンスを行うこともありませんし、寮祭のようなイベントが行われてもいません。ああ、以前はあんな行事もしていたし、他の寮生の部屋に行ったりもしていて、それがなくなった直後は辛かったけれど、もうなんとなくこの「ない」状況に慣れてしまったな、と後から改めて気付くこともあるでしょう。皆さんは今、クラスが違う寮生、学年が違う寮生、とコミュニケーションはとれていますか？ただ同じ寮に住んでいるだけ、の存在になっていませんか？皆さんにとっての1年間は私のようないい歳をした大人にとっての1年間とは全くその価値も重みも違います。例えコロナ騒動が巻き起ころうと、一緒に空間で一緒に時間を過ごしている貴重な仲間です。いつか歳をとって若い頃を振り返り、ああ、共同生活で苦労もあったけれど、なんだかんだで皆がいたから楽しい寮生活だったなあ、と思いたくはありませんか？そのために今の自分が出来ることはお互いに仲間同士で声を掛け合い、責任を持ってまっとうしませんか？寮の在り方もターニングポイントを迎えている今、私も更に、自分に出来ることは何か、それを最善で実行出来るように気持ちを新たに、また来年度以降も皆さんを寮に迎えられるように務めていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

# 新任寮務主事補挨拶

電子情報工学科  
寮務主事補 岡 芳樹

始めましての学生は居ないと思いますが、始めまして、寮務主事補となりました、電子情報工学科の岡です。毎度のようによろしくお願ひします。昼間は寮事務室にてボンカレーを食べていますので、何かあった時はお声がけください。

さて、折角の機会なので、寮と社会のつながりで私が重要視した方が良くと思う所を話しさせてもらおうと思います。それは、寮室は「借り物」と言う所です。近年、『お金を払っているのだから、少々好きな事をして問題ないだろう』と言う考え方が増えています。そして、近年の寮室もその傾向があります。物やゴミを散らかしたり、設備を解体・移動させたり、貴方的には住みやすいかも知れませんが、寮室は汚損・破損してしまいます。直せば良いのでは？となりそうですが、直らなかつたらどうしますか？寮の基礎まで問題が浸透してしまうと建て替えとなります。億単位の話ですよ。と言う事で、ただ生活を送るだけでなく、寮は借り物なので綺麗に使用する。これを心掛けてみてください。これは社会に出ても一緒です。一人暮らしを始めると賃貸に入りますね。住民トラブルで汚部屋とか騒音とかありますが、借り物をよくそこまですめちゃくちゃに出来るなど逆に感心し



てしまいますが、オーナーにとっては堪ったもんじゃない話ですね。自分だけでなく、他人の事も考えて施設は利用しましょう。私も今年度に引っ越しをしましたが、7年間住んだアパートを出る時の点検時に管理会社から「凄く綺麗ですね」って言われました。私はマットレスの擦れ痕が壁紙に横30cm×縦8cmぐらいで付いていたので、マジかあ・・・、ヤバいなあ・・・、申し訳ないなあと思っていたのに、1か所でも目に入る汚れ等があったら、大変だ、と思っていたのに全然問題が無いと・・・。他の人はどんな生活を送っているんだ？と思いましたね。やはり、借り物を使い潰す人が増えているのでしょう。皆さんもそのような人ではなく、物を大切に扱う人となってください。そうでなければ、寮室チェックで文句を言いますからね。

# 新任寮務主事補挨拶

---

教養教育科  
寮務主事補 熊澤 美弓

今年度から寮務主事補になりました、熊澤です。

高専に着任して、寮にかかわるようになった時に思ったのは、寮というのは、自宅で家族と一緒に生活するのと一人暮らしをするのとのちょうど中間のようだという事です。

家族から離れ、他人と同じ建物内で生活するというの一人暮らしと同じですが、きちんと決まったサイクルがありそれを守れば正しいリズムで生活できますし、困ったことがあれば周りから手助けしてもらうこともできます。

一人暮らしではそうはいきません。当番などあるはずもなく、毎日、自分で片づけなければ散らかったままですし、掃除をしなければ不衛生になっていきます。体調が悪くても誰かが看病してくれるわけでもなく、時間になったらご飯が用意されているわけでもありません。設備に不具合が起きて誰も駆けつけてくれません。まあ、一人暮らしで今言ったことが気が付けば実行されていたとなると別の意味で怖いですが。閑話休題。もちろん、他人と共同で生活するという事は、色々互いに譲り合わなければならぬ部分もあります。そもそもは赤の他人同士なわけですか

ら、生活習慣が違うことでお互いあわない部分だって出てくるでしょうし、トラブルが起きることだってあります。

ですが、寮で生活するという事は、他人といっても同じ学校に通う学生ばかりですし、何かあれば自分より早く寮生活を送っている先輩たちからのアドバイスが得られます。困ったときには君たちより人生経験が豊富で、親身になってくれる教職員が近くにいます。どうしたらうまく共同生活ができるか、皆で一緒に考えて解決に導くことができます。

周りの多くの人々に支えられ、守られ、安心できる環境で、将来の自立に向けて段階を踏んで準備ができ、一人ではできない得難い経験ができる、貴重な場所だと思います。

皆さんはいずれ卒業し、寮を出ることになります。その先は、それぞれの道が待っています。そこで、寮生活で学んだことが役立つこともあるでしょう。そのために、寮生活も含んだ学校生活のなかで、大いに楽しみ、大いに学んでほしいと思います。

寮務主事補として、その一助になることができれば、嬉しく思います。どうぞよろしくお願いします。



# 今しかできない寮生活を楽しんで

---

教養教育科  
講師 松岡 信之

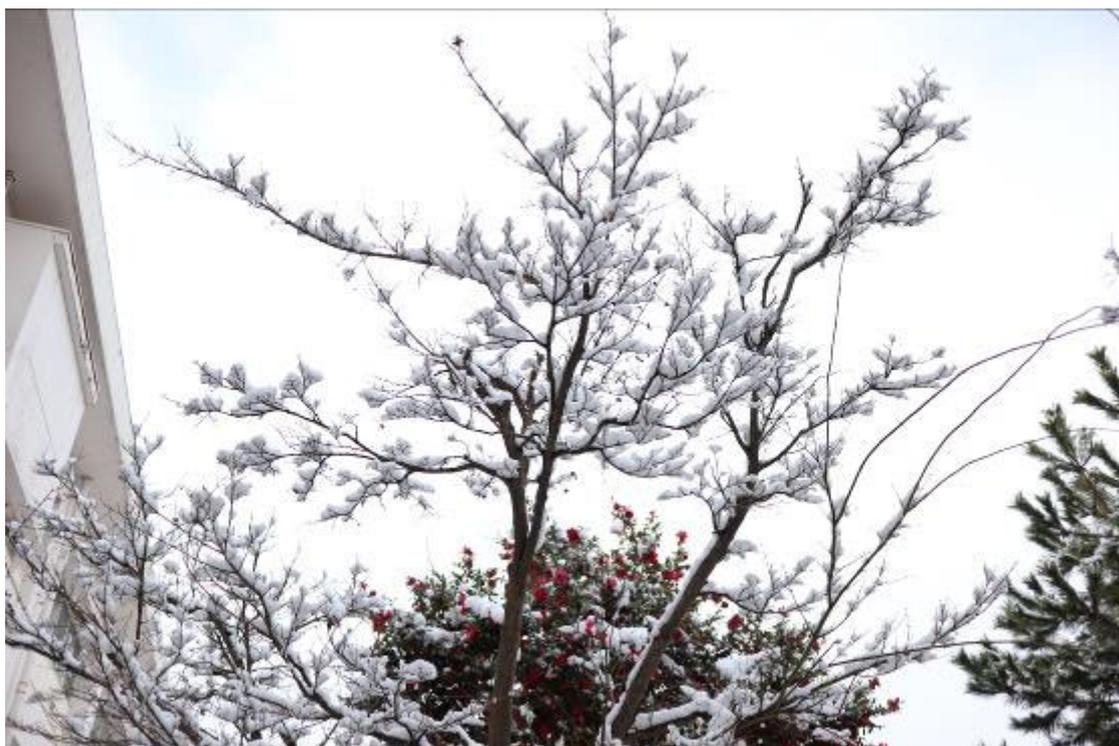
鈴鹿高専に来て1年が経とうとしています。2年生の「現代社会Ⅱ」、4年生の「技術者倫理入門」を担当しているので、両学年の皆さんにはおなじみかと思います。また、選択科目では4年生の「技術経営Ⅰ・Ⅱ」、5年生「経済学Ⅰ・Ⅱ」も担当しています。

私は大学進学とともに故郷の新潟から出てきて、ずっと一人暮らしをしていたので、寮生活の経験がありません。私が考える寮生活といえば、厳しい(厳しすぎる)上級生、厳しい規則、軍

隊生活…というイメージですが、鈴鹿高専の寮は開放的な雰囲気、学年にあまり関係なく仲が良いようです。先輩と後輩が力を合わせて、また協力して寮生活を楽しんでほしいと思いますし、この経験が社会に出た時に生きてくるでしょう。

何か困ったことがあれば、寮監の先生や寮務主事の先生などに話してみてください。意外とあっさり解決するかもしれません。私も皆さんにいろいろ教えてもらいながら、寮の運営に協力できればと思っています。

最後に、点呼の時間にはしっかり起きましょう。



# 寮生活におけるコロナ禍での変化

青峰寮A 寮長 宮崎 優

初めまして、A寮寮長、電気電子工学科の宮崎優です。

今年度は、まだコロナウイルスの影響が残っていますが、前期の初めから寮に入ることが出来ました。ですが、昨年度と同じく寮の行事の一つである寮祭が中止となったり、後期の途中まで昼の寮食の時間帯を低学年と高学年とで分けたりなど感染対策をしっかりと行っているためコロナウイルスが流行する前に比べて寮内での交流が減ってしまい、低学年や新入生と交流をしっかりと持てなかったのが残念でした。来年度、私は進級することが出来れば5年生になります。もしかしたら、5年生や専攻科生、留学生が生活している2寮に移ることになるかもしれませんが、新入生の皆さん又は下の学年の人たちとも交流を来年度からはもっと持てれば良いなと思っています。

私がこれまで4年間寮で生活してきて、コロナ前と後の両方の寮生活について知っているわけなので、ここでは



私がコロナ禍によって大きく変わったと思うことについて話していこうと思います。まず1番に思うことは4寮では例年では寮長、副寮長、指導寮生以外は1部屋に1~3年生が1人ずつ入っていたのに対しコロナ禍では各部屋に指導寮生関係なく1人で入るようになったことだと思います。これによって、A寮はもともとから1人部屋なのでこっちに関しては変わっていませんが、4寮の3人部屋を1人部屋にしたことによって単純計算で4寮に入寮できる人が3分の1になってしまい全体的に入寮できる人が大きく減ってしまいました。あと、コロナ前では友達の部屋に勉強を教えてもらうこともできましたが、それも感染対策の為にほかの部屋に行ってはいけないということでできなくなってしまいました。

ですが、そんな中でも寮のいいところはたくさんあります。例えば、寮は学校の敷地内にあるため朝の時間を通学生に比べて余裕を持って行動することが出来たり、放課後の部活や先生に聞きたいことがあって19時ごろまで学校にいたとしてもすぐに夕飯を食べることが出来たり、教科書などを忘れてしまってもすぐに取りに行ける。そして、しっかりと寮のルールさえ守っていれば結構自由に行動できることが寮のいいところだと私は思っています。最後に、私は今でも寮は活気があると思っていますが、早くコロナが収束してもっと活気があったコロナ禍前の寮に皆さんと一緒に戻していけたらなと思っています。

# コロナ禍の1寮

---

## 第1青峰寮 寮長 平野 花帆

今年度はコロナウイルスの影響もあって新入生の入寮が少なくなったこともあり、1寮での掃除や普段過ごすためのルールを大きく見直しました。特に普段の清掃、週番などはこれまで1年生の負担が大きかったため2年、3年にも協力してもらい仕事の頻度を減らし、4年生にも係の割り振りをしました。ルールを変えるにあたってそれぞれの学年の思いもあったり、今まで行ってきた決まりを変えることはなかなか難しく大変でしたが、3・4年生の寮役員や先生方と話し合ったりアンケートを取ったりしながらより良い寮のルールを作れたかなと思います。私たちの年も同級生の人数が少なく大変な思いをしていた時もあったので、今回ルールを変えたことで今まで仕事が多くて大変だった低学年が少しでも寮生活が楽しく暮らせたらいなと思います。

また、今年もコロナが流行していたのでコロナ対策をしなければいけませんでした。私が低学年だったときはまだコロナウイルスはなかったもので、談話室で料理を作りそこでご飯を食べたりテレビを見たりしながら同級生や先輩方とも楽しくおしゃべりしながら過ごしていました。それが出来なくなったのが少し寂しかったです。けれど感染対策をしていたら関わるができると思うの



で、寮についてでも学校の事でも雑談でも何かあったら話しかけてください！私はしゃべることが割と好きなのでいっぱいしゃべりたいです。

段々コロナ対策でマスク着用や黙食などすることが当たり前になってきましたが、やはりコロナが早く収束して元の生活の戻って欲しいです。以前と同じようにいろんな人と関わるができる寮生活ができることを願っています。

# 2寮での生活

第2青峰寮 寮長 伊藤真一郎

この青峰寮で変化の絶えないとても濃密な5年間を過ごしてきました。15歳から寮で一人暮らしをするという普通の高校生では経験することのできないことをこの学校でさせてもらえて今後の人生でも生かしていきたいです。

去年も4寮寮長としてこの広報誌に載せていただきましたが今年5年生の一部と専攻科生と留学生が入る2寮の寮長としてこの文を書かせていただいています。コロナ禍前は専攻科生と留学生のみの寮でしたが去年から割り振りが流動的に変化しています。本来専攻科に入らなければこの寮に入ることがなかったので運がよかったのだと前向きにとらえています。

しかし、部屋の広さだけで言うと4年生の間まで過ごした4寮の部屋の方が広いので時折4寮が恋しくなります。もちろん2寮にもいいところはあります。その1つは寮の中にシャワー室がある

というところですよ。逆に言うと他の男子寮にシャワーもお風呂もないというのがかなり不満な点でした。少し文句を書きすぎたのでここからはいいところだけ書いていきます。みんなの意見や改善点が反映されやすく寮生みんなにより良い寮にしていく雰囲気がありとても過ごしやすいです。低学年のころから意見を言える場があり改善に努めてもらえます。寮役員も月に一度集まって日ごろの問題点などを挙げる機会があり自分が役員になって初めて先生や先輩たちが寮生活の改善に真剣に向き合ってもらっていたことに気づきました。学科や部活の垣根を超えた友達ができたり、将来の一人暮らしの練習になったりといいいところを挙げるときりがありませんが自分が思う寮のいいところは学校にとっても近いところですよ。登下校が楽で睡眠時間が確保でき、部活動でお腹が空いてもすぐに寮食堂で晩御飯が食べられるのはとてもありがたかったです。

読んでいただきありがとうございました。是非とも寮生活を楽しんでください。



# 寮運営に携わって

## 第4青峰寮 寮長 前澤 温志

実のところ、寮運営、ましてや寮長なんてやりたくねえよ…なんて入学当初は考えていた電気電子工学科4年、前澤温志です。

今年度は昨年度と異なりオンライン授業も少なく、1年を通して、寮で生活して学校へ登校するということができ、少しずつ以前の日常に戻ってきたなと感じます。しかしながら、未だコロナ禍にあることは変わりなく、友達の部屋に行けないなど、日常生活とはまだほど遠いなと感じることもあります。

さて、せっかくですので、今後の参考になればいいなと思い、今の寮の生活について書いていこうと思います。ぜひ参考にさせていただけたらと思います。

まず、基本的に人前ではマスクをつけ、大声で会話はせず、食事のテーブ

ルにはパーテーションがあるなど、コロナ禍において、すでに多くの方が実践している生活とほぼ同じです。しかしながら、寮は家ではないので、自身の生活する部屋から廊下に出る際はマスクの着用が必要など、自宅で過ごすよりかは少し堅苦しいです。

ですが、近くにはいつも友達がいいます。一緒に食事をとったり、お風呂に入ったりと、日常生活ではまず体験できない生活をすることができますし、土日は友達とどこかへ遊びに行ったり、自宅に帰ってゆっくりしたりと自由に過ごすことができます。寮にいる間は親に叱られることもありません。そして何より勉強に集中することができます。

最後に、この文章を読んで少しでも鈴鹿高専の寮に関する興味を持ってもらえたらうれしいです。個人的には、皆さんが寮に入ってくる頃にはコロナ禍の生活に関するくだりが無意味になっていることを望みます。



# 寮の仕事

---

学生課寮務係 堀部 和人

久しぶりに寮に戻ってきました。2015年～2018年までこちら寮の仕事に携わっておりましたので、約3年ぶりとなります。以前の寮事務所と比べると装飾品等のおかげもあると思いますが、とても明るい雰囲気です。おかげ様で私の心も明るいので、寮生に対しても明るく振舞いたいと努力しています。私はどちらかといえば外で作業することが多いため、寮生とは寮事務所より外での顔合わせが多いです。银杏や落ち葉が寮の敷地内だけでも非常に多く落ちているため、少しでも綺麗で過ごしやすと感じていただければという思いで清掃に励んでおります。寮生とは特に雑談することはないのですが、挨拶をして元気な声で返してもらえばこちらも元気になり

ます。いまだに名前と顔が一致していない寮生が多く、時折、間違えて名前を呼んでしまうこともあるのでそこは申し訳なく思います。コロナ禍前は談話室でテレビ視聴しながら談笑する寮生を見かけることもありましたが、現在ではそれも禁止事項となっているため、多少、窮屈な寮生活を強いられているような印象を受けますが、居室は全て個室となっているため、その分、羽を伸ばせてよかったのではないのでしょうか。学力が疎かになってないか心配ではありますが、そこは各々、自覚をもって行動して下さい。

このコロナ禍において、特に大きな問題なく寮生活を送れているのは林寮務主事はじめ、寮務主事補、寮事務職員の皆様方のおかげです。心より感謝申し上げます。

